

印西大師 第28番 平岡・東大寺大日堂

1 名称 (No.028)〔手引鏡：大日堂〕〔資料館：東大寺〕〔行程表：東大寺〕

2 場所 印西市平岡1230 東大寺

平岡・ドテから道程約1,570m

GPS座標 35.83516067349468, 140.17358145766326

3 由緒 天台宗

大日堂は明治初期に消滅し、仏像は東大寺に奉還された。(平成6年寺院堂庵明細表)

4 御堂 左に第22番、右に第28番の札が貼られた大師堂の中に丸彫りの御大師様が計4体あり。

5 境内 本堂、観音堂跡、薬師堂跡、不動堂跡、墓地等がある。

6 写真 (2019.08、2021.11、2023.11撮影)



第22番の御大師様 (左側)



御大師様2体 (中央)



第28番御大師様 (右側)



緑の参道



大師堂(右側が第28番)



銀杏と楓

7 情報

(1) 印西大師 第28番 大日堂 御詠歌 (泉倉寺本による)

露霜と罪を照らせる大日寺 などか歩みを運ばざらまし

四国八十八ヶ所 第28番 真言宗智山派 法界山(ほうかいさん) 高照院 大日寺(だいにちじ)

本尊 大日如来 (高知県香南市) 写し

8 関連Web

○東大寺ホームページ <http://toudaiji.sakura.ne.jp/>

印西大師 旧第28番 平岡・大日堂跡（不動堂跡）※

- 1 名称 (No.028)〔手引鏡：大日堂〕
- 2 場所 印西市平岡1108-3付近
平岡・オクノ家から道程約280m
平岡・東大寺から道程約480m
GPS座標 35.83174978113726, 140.1755785780224
- 3 由緒 大日堂は明治初期に消滅し、仏像は東大寺に奉還された。（平成6年寺院堂庵明細表）
- 4 御堂 なし。
- 5 境内 空き地に石造物がある。
- 6 写真 (2023.11撮影)



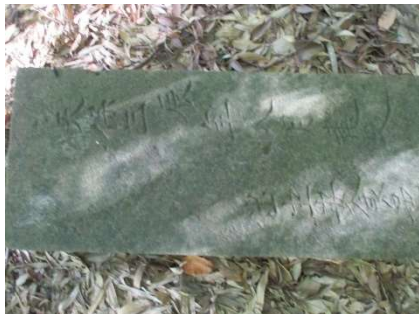
下の道路方面



坂の途中にある観音様



手水石



天保三年建立の出生安全ノ邑？



石造物

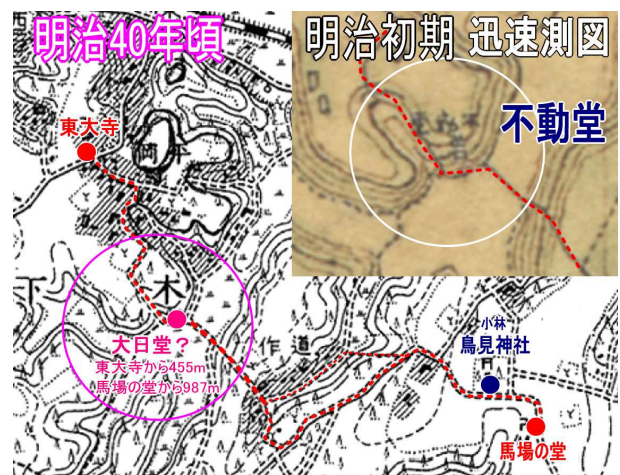


石造物

7 情報

(1) 旧大日堂の場所は不動堂跡か（推測）

第28番大日堂は、現在は第22番と同じ御堂にあるが、手引鏡には東大寺から4丁10間(455m)で大日堂、大日堂から9丁3間(987m)で馬場の堂とある。明治40年の古地図や明治初期の迅速図を基に東大寺から馬場の堂へ向かうルート进行推測してみると右図の赤点線のルートが考えられる。旧大日堂は「●大日堂？」と記載した平岡1108-3付近が、距離的にかなり合致している。迅速図にはこのあたりに「不動堂」との文字が見えるので、



昔から信仰の場所となっていたことが伺える。

(2) 旧不動堂と旧大日堂

不動堂について地元の方に伺ったところ、今は石が少し残っているだけで何もないとのことでした。現地へ行ってみると、かつて御堂があったと思われるような広さの空き地があり、江戸時代の石造物も残されていました。ここが大日堂跡とすれば明治初期に消滅しているので、150年近く前になくなっているにもかかわらず、最近まで御堂があったような雰囲気が残っています。

また地元の方から、御不動様は、「昔、木下の山根山不動尊に寄付したのではないか」というお話を伺いました。しかし、後日、東大寺のホームページを見ると右の写真のとおり、大日如来と不動明王と十一面観音が「元不動堂（別在地）に祀られていた仏」と説明文付きで掲載されていました。山根山不動尊に寄付されたのではなく、東大寺に移されたようです。



大師堂についての手がかりは見つからなかったものの、明治4年の手引鏡の頃はここに御大師様があって第28番札所として巡拝されていたものの、その後、不動明王像などとともに弘法大師像も東大寺へ移され、現在、第28番の札の貼られた大師堂に祀られているのが旧大日堂(旧不動堂)にあったものだ考えてよいのではないのでしょうか。(2023.11現地調査)

(3) 印西町調査報告書

平成7年の印西町石造物調査報告書（追録）には、「平岡字東1107 不動山」に、阿弥陀如来像、無縫塔(承応三年・1654年)、無縫塔「不動堂開基霊位」(安永三年・1774年)、十九夜搭(享保四年・1719年)、十九夜搭(元文三年・1738年)、二十三夜搭(安永五年・1776年)、手水石(明治三十三年・1900年)などがあることが記載されている。しかし、現地にあった石造物で年号がはっきり読み取れる「天保三辰年八月建之」の「出生安全ノ邑」碑？については記載がありません。場所が違うとは思えないのですが。